

科学研究費助成事業（特別推進研究）研究進捗評価

課題番号	21000006	研究期間	平成21年度～平成25年度
研究課題名	高性能有機触媒の創製と精密有機合成化学への応用		
研究代表者名 (所属・職)	丸岡 啓二（京都大学・大学院理学研究科・教授）		

【平成24年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

本研究は、高性能有機触媒を創製し、開発した触媒を用いて精密有機合成化学反応を開拓することによって有機触媒研究を国際的にリードする拠点の形成を目指している。当初の計画に掲げられた4項目の触媒開発の方針のうち、1項目を除き順調に研究が進展しており、期待以上の研究成果も生まれつつある。既に得られた触媒の実用化による社会還元も進んでおり、進行の遅れている項目においても、新規な知見が得られている。「高性能有機触媒の創製と精密有機合成化学への応用」という観点からは、研究成果の学術誌への報告も活発に行われており、期待どおりの成果が得られる方向へと、順調に進展していると評価できる。

【平成27年度 検証結果】

検証結果	本研究は、高性能有機触媒を創製し、開発した触媒を用いて精密有機合成化学反応を開拓することによって有機触媒研究を国際的にリードする拠点の形成を目指している。当初の計画に掲げられた4項目の触媒開発研究の方針、すなわち高性能有機塩基触媒の研究、高性能有機酸触媒の研究、高性能有機酸塩基複合触媒の研究及び高性能有機ラジカル触媒の研究は全て順調に進展し、期待どおりの成果が達成された。
A	